2021年5月31日

豊中市長　長内　繁樹　様

エヌエイチグループ
（代表団体）
日本コンベヤ株式会社
代表取締役社長　梶原　浩規

２０２０年度

豊中市立螢池駅西自動車駐車場事業報告書

下記の通り報告いたします。

記

１．管理運営業務報告

２．利用状況

３．管理運営業務に係る経費の収支状況

４．2020 年度決算報告書

1. 管理運営業務報告

(1) 運営方針

公共の豊中市立螢池駅西自動車駐車場として「公平・公正・安全・安心」を指針に管理運営業務に努めました。

また、蛍池駅に隣接した環境を十分理解し、公共交通機関の利用促進と市民サービス向上に努めました。

(2) 業務時間、場所

1) 業務時間

入場時間　午前 6 時 00 分から午後 11 時 00 分

出場時間　午前 6 時 00 分から午後 12 時 00 分

2) 休日

なし

3) 業務場所

豊中市螢池中町 3 丁目 2 番 1-B12 号

(3) 業務時間外の対応

1) 時間外窓口は（緊急コールセンター）にて対応しています。

2) 保守点検時に発生する入出庫の渋滞を少しでも緩和するため、保守点検実施日を第２・第４水曜日 9:00～15:00 に変更し、実施しています。

（管制装置並びに車種判別の点検は従来どおりです）

(4) 業務実施体制

1) 「公平・公正・安全・安心」を目指すため、従事者の接客サービス向上を図り教育を実施しました。入出庫利用者の案内時における言葉遣いや態度には、特に注意を払いました。

2) 利用者の気持ちになって車路・入出庫バース・待合室・通路などを見回り、

ゴミや蛍光灯切れ及び異常がないか、一日三回の巡回を実施しました。

3) 入出庫時の機械動作、特に「音」に注意し、聞きなれない「音」や見慣れない「機械動作」があった場合は、速やかに責任者に伝えるよう徹底しています。

4) 責任者、副責任者には、駐車機械を理解してもらうため、保守点検立会をさせています。責任者は、管理運営業務のみでなく駐車機器を熟知している人材を配置し、ご利用者へのサービス向上のみでなく、駐車機器の異常の兆候をいちはやく察知し、駐車機器に異常が発生しないようメンテナンス部と連絡を密にし、予防的対策を即座に講じるよう対応しています。また、駐車装置の不具合が発生した場合、簡単な不具合なら復旧できるよう、適時教育を実施しています。

5) 緊急事態発生時の対応については、駐車場管理室にある「緊急対応マニュアル」に沿って対応できるよう、従事者に周知しています。

(5) 法令遵守

螢池駅西自動車駐車場管理運営にあたり、地方自治法・螢池駅前再開発地区自動車駐車場条例、施行規則など必要な法令を遵守します。

(6) 個人情報保護

業務にて知りえた個人情報の取り扱いは、慎重に取り扱い個人情報の保護に関する法律および個人情報保護条例に従い管理いたしました。

個人情報保護を確実に実行するため、社内教育・研修をおこないました。

(7) 人権の尊重

駐車場利用者や第三者の人権を侵害することのないよう、年１回責任者・副責任者が人権啓発の講習に参加し、従事者全員に講習を実施しました。

参加講習

２０２０年９月１７日　　場所：豊中市立人権平和センター豊中４階ホール

講習名：「人権についての市民意識調査」

参加人数：１名

２０２０年１２月１６日　場所：エトレとよなか地下駐車場管理室

使用教材：お互いの本当が伝わる時―障碍者―

参加人数：4 名

(8) 従業員（従事者）への配慮

従事者が円滑に業務を遂行できるよう駐車場スタッフお客様応対マニュアルを周知徹底させ、労働関連法令を遵守し福利厚生に努めました。

月１回飲み物支給（福利厚生）

高齢の従事者が多く、従事者１名が病気で 2 か月間休業を要したため、従事者全員がカバーしました。特に健康には留意して無理な勤務をさせないよう心がけています。

(9) 環境への配慮

業務上発生するごみの分別回収に努め、また駐車場利用者へ誘導中におこる「入庫待ち」が出た場合には、エンジン停止にご協力いただくよう環境への配慮を怠りませんでした。

(10) 自己モニタリングの実施

アンケート調査を実施するにあたって、正確を期すために、従事者の代わりに人材派遣会社から、アンケート調査を実施した経験のある人材に来てもらい、実施しました。

調査実施時期：2020 年 12 月 17 日（木）～2020 年 12 月 21 日（月）

調査時間帯　：上記期間中　11 時～19 時迄の間

調査方法　　：アンケート調査要員（派遣）の聞き取り調査

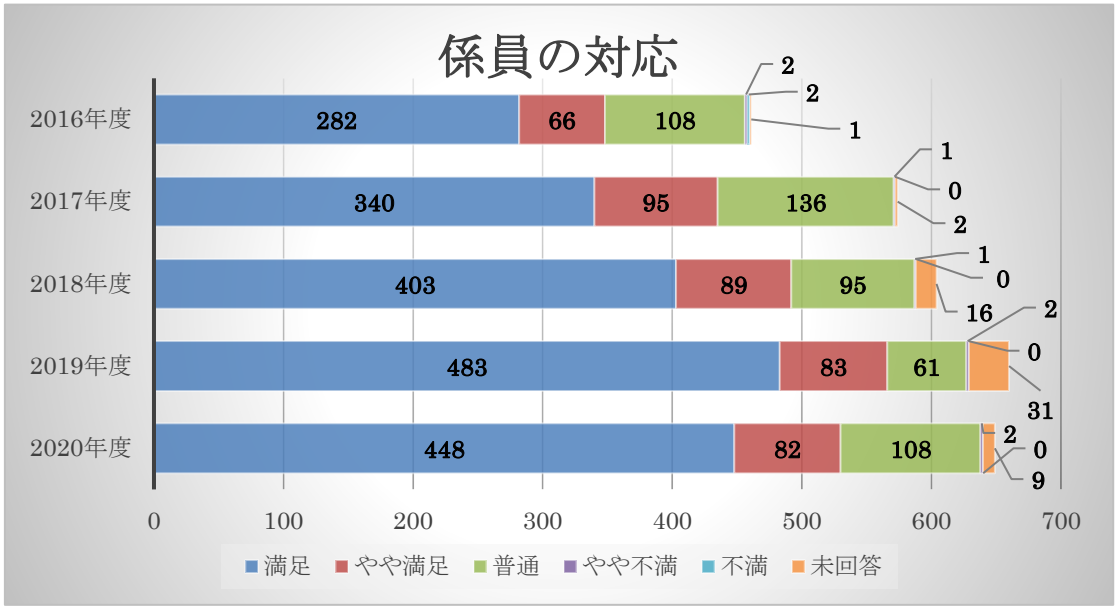
前年度に引き続き螢池駅西自動車駐車場利用者の利用目的を聞き取り調査しました。

結果、館内利用者が約８８％となりました。コロナ禍の影響があると思います。

利用回数では、1 か月に 2 回以下の利用者と 3 回以上の利用者の比率は 54:56 でした。

また、係員の対応が不満・やや不満が 2 件、満足とやや満足が約 82%(前年度：88%)となり普通と答えた利用者は約 17%でした。

駐車場の不便なところは、「入庫しにくいところと入出庫に時間がかかる」という意見は全体の約５３％でした。また携帯電話がつながらないという意見もありました。この結果は、前年度と同じ傾向で、大きな変化はありませんでした。



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
満足	282	340	403	483	448
やや満足	66	95	89	83	82
普通	108	136	95	61	108
やや不満	2	1	1	2	2
不満	2	0	0	0	0
未回答	1	2	16	31	9
合計	461	574	604	660	649

（11）社員育成

責任者、副責任者の教育を適時実施し、責任者及び副責任者から駐車場従事者への教育を実施しました。

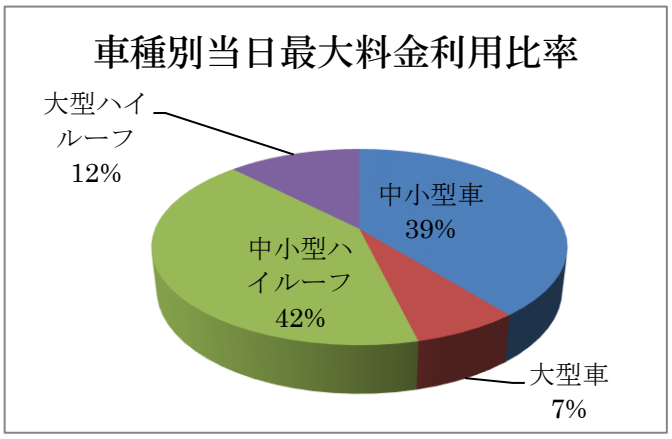
2. 利用状況

(1) 当日最大料金と短期定期利用状況

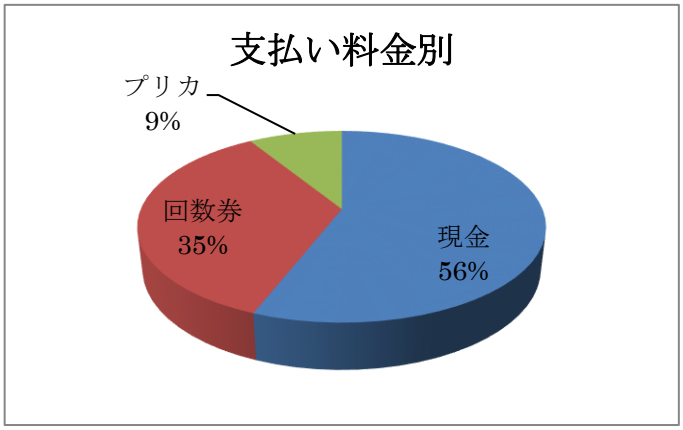
1） 当日最大料金

2020 年 4 月～2021 年 3 月の集計で総出庫台数（68,863 台）の約 2.5%（1,788 台）売上金額（￥2,214,100 円）では、総売上金額（￥25,502,200 円）の約 8.7%を占めました。

また、車種別利用状況ではハイルーフが全体の約 54%を占め中小型ハイルーフが全体の約 42%を占めています。（下図参照）



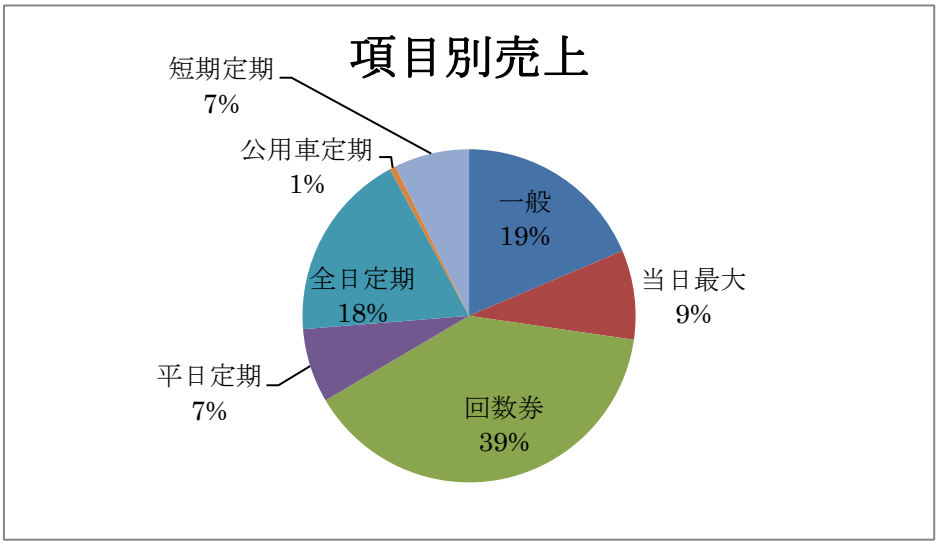
また、料金の支払いは現金支払いが約 56%占めています。当日最大料金利用するにあたって、回数券利用のメリットを説明し回数券販売につなげていきます。（下図参照）



2） 短期定期駐車券

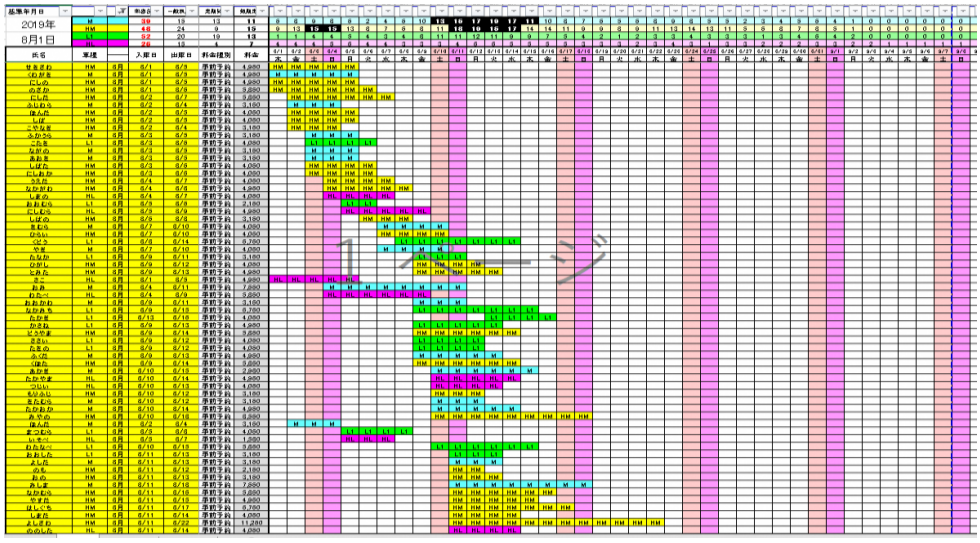
大阪空港をビジネスやレジャーで使用される利用者に、安価で安心して利用していただける公共の駐車場として、短期定期駐車券販売を平成 28 年 7 月から開始してから、短期定期駐車券が徐々に認知されてきました。

29 年度は年間 586 台売上￥2,018,350 円、30 年度は年間 802 台売上￥2,719,510 円、31 年度は年間 1,053 台売上￥3,905,340 円となりましたが、今年度（令和 2 年）はコロナウイルスの影響がひびき、年間 530 台売上￥1,861,350 円、約 52%ダウンしました。今後もまだ影響がでそうです。



盆休みでは、約 40 件キャンセルがありました。

下図は 8 月度短期定期利用状況です。



インターネットで検索した利用者からの予約電話が大半です。

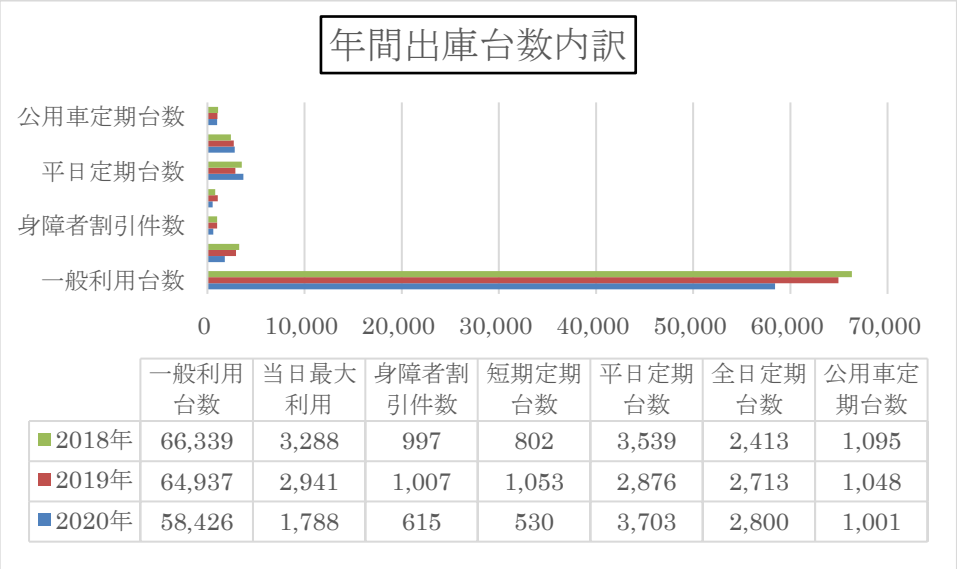
次も利用していただくよう従事者の接客サービス向上に努めました。

短期定期駐車券利用者台数は 1 台あたりの売上単価は前年度￥3,709 円、今年（令和 2 年）￥3,512 円でした。

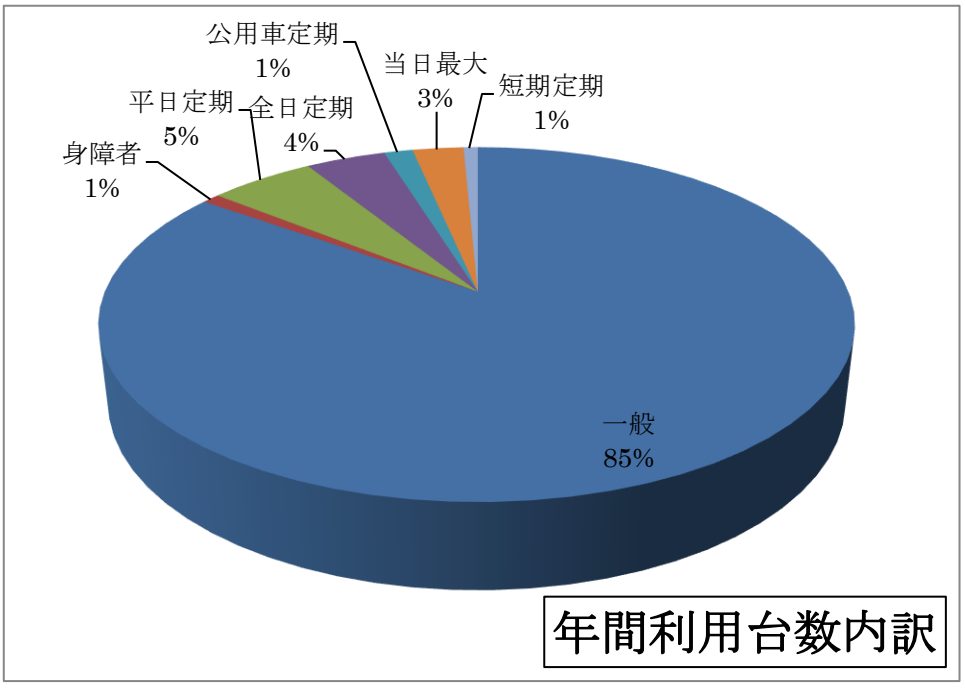
今後の短期定期の利用台数の増加に努めます。

(2) 利用台数

1） 年間の利用者台数は、2020 年度は 68,863 台と 2019 年度の 76,575 台から 7,712 台約 10%減少となりました。



	一般利用台数	当日最大利用	身障者割引件数	短期定期台数	平日定期台数	全日定期台数	公用車定期台数
2018年	66,339	3,288	997	802	3,539	2,413	1,095
2019年	64,937	2,941	1,007	1,053	2,876	2,713	1,048
2020年	58,426	1,788	615	530	3,703	2,800	1,001



3.　管理運営業務に係る経費の収支状況

収支状況		（単位　円）
	項目	収支状況
収入	利用料金収入額	23,183,827
	指定管理委託料（修繕費）	1,087,223
	小計	24,271,050
支出	人件費	18,665,989
	外注費	0
	消耗品	54,722
	保守点検料	7,483,000
	水光熱費	2,303,107
	保険料	163,230
	通信費	192,727
	修繕費	1,087,223
	諸経費	440,903
	備品	35,108
	地代家賃	540,000
	納付金小計	1,090,920
	小計	32,056,929
収支		−7,785,879
変動納付金		0

1）　責任者、副責任者には、管理運営のみでなく駐車装置がわかる人材を適用したため、人件費が予算よりオーバーした。

2）　コロナウイルスの影響で売上が前年度より約 24%ダウンした。